

技術分野	電気・電子・光学
技術キーワード	放熱、熱対策、熱電発電

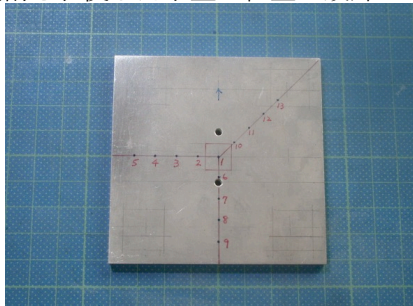
所在地	[本社] 千190-0034 東京都立川市西砂町 6-39-21				
資本金	1,560 万円	従業員数	3 名	設立年 (西暦)	2010 年
主要事業	産業用熱交換器、熱対策サービス				
Web サイト	www.alvc.jp				
連絡先 (部署・氏名)	代表取締役 黄 國書				
TEL	042-520-8223	Eメール	info@alvc.jp		
得意な技術・製品	アルミベーパーチャンバー熱交換器、熱電冷却/加熱装置				
得意な顧客・市場分野	産業機器放熱器製造、医療機器温度制御器製造、電気自動車、家電 (除湿機、加熱器)				
生産拠点・研究体制	日本設計、台湾生産				
特記事項 (取得資格・認証等)					

PR 詳細

1. アルミベーパーチャンバー

当社ベーパーチャンバーヒートシンクは冷媒技術の応用とアルミ使用により、従来製品の 1/3 の大きさ、またそれに伴う軽量化も実現しました。アルミを使用することで、コストも抑えられ、多様な設計も可能です。使用後は 100%リサイクル可能で環境保全にもつながります。

今後も冷媒技術を駆使した小型・軽量の設計でお客様のニーズにお応えしていきます。



サンプル A.: アルミ板

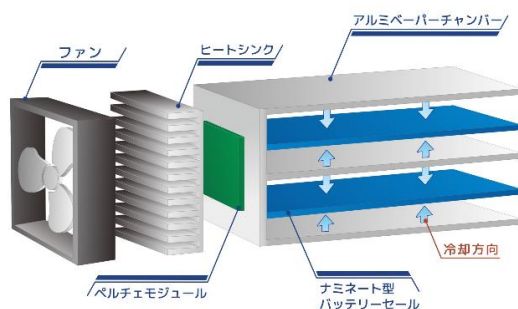


サンプル B.: アルミベーパーチャンバー

	Sample A	Sample B
熱源パワー	17.29W	17.40W
ΔT (表面上昇温度)	5.6	1.0
熱抵抗 (°C / W)	0.32	0.11

2. 熱電加熱/冷却装置

アルミベーパーチャンバー (ALVC) と熱電素子 (ペルチェモジュール) の組み合わせで、新たな冷却/加熱装置が生まれ、優れた定温制御性能で、電気自動車のバッテリー温度管理、医療機器の定温管理、家電製品の冷却、加熱制御などに応じております。



使用例 (特許取得):

EV バッテリーパック用 TVC 温度制御システム

リチウムイオンバッテリーの間に (ALVC) を置き、熱電素子から冷/熱温度を加え、ALVC に通して、バッテリーの温度が一定温度を制御する。

バッテリーが一定温度を得れば、電気自動車の走行距離を伸ばす、省エネのメリットが得られる。